

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	内容が本校生徒の学力実態に見合っている。また、学習目標が立てやすい構成になっている。
	地理歴史	内容が教科・科目の目標に適合しており、程度が生徒の実態に即し、適当である。
	公民	内容が教科・科目の目標に適合しており、程度が生徒の実態に即し、適当である。
	数学	内容が教科・科目の目標に適合しており、程度が生徒の実態に即し、適当である。
	理科	内容が教科・科目の目標に適合し、程度が生徒の実態に即している。生徒の理解を促す工夫、興味・関心を高める工夫がなされている。
	保健体育	内容が教科・科目の目標に適合しており、程度が生徒の実態に即し、適当である。
	芸術	内容が授業に適合している。生徒の実態に即し適当である。
	外国語	程度が本校の生徒の実態に即しており、内容も教科・科目の目標に適合している。印刷も鮮明で、造本も適切である。
	家庭	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。本文、表現等が正確である。
	情報	
	理数	
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	
	工業	程度が生徒の実態に即し、教科・科目の目標を達成するよう適切な創意・工夫がなされている。
	商業	図表や挿絵等が見やすく、また事例が豊富でわかりやすい。程度が生徒の実態に即し適当である。
	水産	内容が教科・科目の目標に適合している。また、現在の水産業の諸問題が扱われている。
	家庭	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。本文、表現等が正確である。
	看護	
	情報	
	福祉	単一の教科書会社からしか発行されていない。